

## 2014年6月 東都生協NO<sub>2</sub>測定濃度分布図

2014年6月5日～6月6日に測定したNO<sub>2</sub>(二酸化窒素)の測定結果をお知らせします。

人の健康に悪影響を与える汚染物質、イオウ酸化物(SO<sub>x</sub>)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)、炭化水素、浮遊粒子状物質(SPM、PM<sub>2.5</sub>)などは主に自動車から出る排気ガスが原因です。

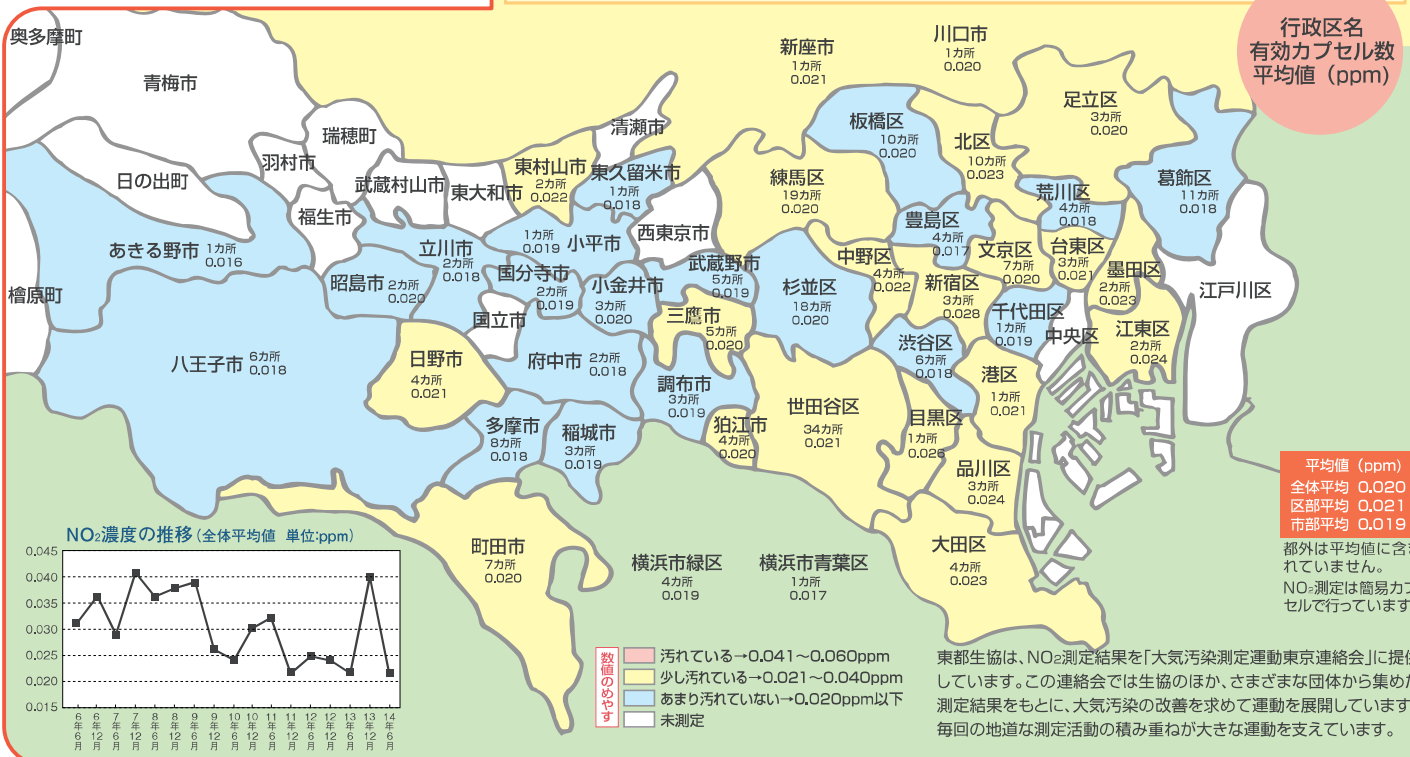
東都生協は、身近なところの空気を実際に測って自分たちで確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいかをみんなで考えていくために、1988年から二酸化窒素NO<sub>2</sub>測定活動を実施しています。

### 2014年6月の測定結果

今回測定したNO<sub>2</sub>(二酸化窒素)の濃度は、2006年～2014年で最も低い濃度となりました。都内の主な大気汚染常設監視測定局が測定したNO<sub>2</sub>平均濃度は、道路沿いが0.022ppm、住宅地は0.012ppmでした。

一斉測定日: 2014年 6月5日(木)午後6時～ 6月6日(金)午後6時 (前後2時間を有効)	当日の天気: 5日(曇り)、6日(雨) 当日の風速: 5日(3m/s)、6日(3m/s)	測定規模 ・カプセルの配布数:264個 ・カプセルの返却数:252個(回収率95.4%) ・有効測定数:218個(回収率82.5%) 測定結果: NO <sub>2</sub> 濃度の全体平均値:0.020ppm (区部0.021ppm、市部0.019ppm)	昨年(2013年6月) との比較:+0.001ppm *前回(2013年12月) との比較:-0.020ppm
--	---	---	--

※環境省が定めたNO<sub>2</sub>の基準値は「0.04～0.06ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。



行政区名  
有効カプセル数  
平均値 (ppm)

平均値 (ppm)  
全体平均 0.020  
区部平均 0.021  
市部平均 0.019

都外は平均値に含まれていません。  
NO<sub>2</sub>測定は簡易カプセルで行っています。

東都生協は、NO<sub>2</sub>測定結果を「大気汚染測定運動東京連絡会」に提供しています。この連絡会では生協のほか、さまざまな団体から集めた測定結果をもとに、大気汚染の改善を求めて運動を展開しています。毎回の地道な測定活動の積み重ねが大きな運動を支えています。